

平成29年度 科目ナンバリング分類表 (学部の学域専門基礎科目および大学院の専攻共通科目[数学系、繊維系])

大分類 SB 専門導入科目・学域専門基礎科目

学士課程 4年

大分類 SB 専攻共通科目の数学系・自然科学系・インターンシップ系・KIT大学院科目

修士課程 2年

大分類 SB 専攻共通科目

博士課程 3年

中分類名称 コード	小分類名称 コード	3				3		3		
		1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000		
1. 数学	1. 代数学		線形代数学Ⅰ【0】 線形代数学Ⅱ【0】			数理応用代数【0】				
	2. 幾何学			応用幾何【0】		数理応用幾何【0】				
	3. 解析学		基礎解析Ⅰ【0】 解析学Ⅰ【0】	基礎解析Ⅱ【0】 解析学Ⅱ【0】	応用解析【0】 応用数理【0】	数理解析【0】	数理応用解析【0】			
	4. 統計数学		統計数理【0】				数理応用統計【0】			
	5. 分野横断型科目		数学演習Ⅰ【0】	数学演習Ⅱ【0】			数理応用演習【0】			
2. 物理学	1. 力学		基礎力学【0】 基礎力学演習【0】	力学【0】						
	2. 電磁気学			基礎電磁気学【0】 基礎電磁気学演習【0】						
	3. 統計熱力学				統計熱力学【0】					
	4. 量子力学				量子力学【0】					
	5. 実験・実習		物理学実験法及び基礎実験【0】 物理学基礎実験A【0】	物理学実験法及び基礎実験【0】 物理学基礎実験A【0】						
3. 化学			化学Ⅰ【0】 物理化学Ⅰ【0】 無機化学【0】 有機化学Ⅰ【0】 化学基礎実験【0】 物理化学演習【0】	化学Ⅱ【0】 物理化学Ⅱ【0】 物理化学演習【0】 有機化学Ⅱ【0】 化学基礎実験【0】 分析化学【0】	環境化学【0】 化学工学Ⅰ【0】			環境化学特論【2】		
	4. 生物学		生物学Ⅰ【0】 生物化学Ⅰ【0】 生物学基礎実験A【0】	生物学Ⅱ【0】 生物化学Ⅱ【0】 資源生物と環境【0】						
	5. 情報		情報処理演習【0】 情報リテラシー概論【0】		学術国際情報【0】					
	6. 繊維系				繊維プロセス工学【0】 クロウジングサイエンス【0】 繊維科学実験【0】 複合材料ものづくり実験【0】	繊維ナノ構造学【0】 繊維生産流通システム概論【0】 繊維科学概論【0】 複合材料科学【0】			繊維系合同研修【0】 繊維系資格概論【0】 アカデミックインターンシップ(国内)【0】 アカデミックインターンシップ(海外)【0】	
	7. 知的財産		アントレプレナーシップ概論【0】 知的財産概論Ⅰ【0】 特許法・実用新案法Ⅰ【0】 民法概論Ⅰ【0】	知的財産概論Ⅱ【0】 特許法・実用新案法Ⅱ【0】 民法概論Ⅱ【0】	知的財産演習【0】			繊維・ファイバー工学特論Ⅰ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅱ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅲ【1】 繊維・ファイバー工学特論Ⅳ【1】	繊維基礎科学【0】	
0. その他		絵画実習【0】	新先端ファイブ科学【0】 図学【0】	インターンシップA【0】 インターンシップB【0】 地学Ⅰ【0】 地学Ⅱ【0】 地学実験【0】			インターンシップⅠ【0】 インターンシップⅡ【0】 グローバルインターンシップⅠ【1】 グローバルインターンシップⅡ【1】 HDMIインターンシップ【1】 ME310:グローバルイノベーションプログラムⅡ【2】	ME310:グローバルイノベーションプログラムⅠ【2】	視知覚理論【2】 HDMIインターンシップアドバンス【1】	

- 留意事項1. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。
 2. 網掛けを付した科目については、大学院と学部同時に開講しているもの。
 3. すべての課程・専攻に配当されている科目についてまとめたものであるため、所属する課程・専攻によって履修できない科目もある。
 履修可能かどうかは、教科課程表の履修区分を参照のこと。

※【 】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

0: 日本語で行う授業
1: 英語で行う授業
2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
3: 英語以外の外国語で行う授業
4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成29年度 科目ナンバリング分類表 (応用生物学課程, 応用生物学専攻, バイオテクノロジー専攻分)

大分類 AB 応用生物学課程

大分類 AB 応用生物学専攻

大分類 BT バイオテクノロジー専攻

学士課程 4年			修士課程 2年			博士課程 3年		
3			3			3		

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000				2000				3000				4000				5000		6000		7000		
		1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000		5000		6000		7000				
1. 応用生物学 実験/実習	1. 演習	専門導入ゼミ【0】		(情報処理演習 md)		(学術国際情報 mf)	基礎研究・演習【0】	卒業研究【0】											特別研究【2】		研究指導【2】			
		地域課題導入セミナー【0】				地域創生課題セミナーⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】	卒業プロジェクト【0】													バイオテクノロジー特別演習Ⅰ【0】			
						ものづくりインターンシップⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】															バイオテクノロジー特別演習Ⅱ【0】		
	2. 実験/実習				自然観察学【0】	生物機能学・分子生物学実験【0】	生物機能学・分子生物学実験【0】															バイオテクノロジーインターンシップⅠ【0】		
					生物生産学実習【0】																		バイオテクノロジーインターンシップⅡ【0】	
					(生物学基礎実験A)																			
					(化学基礎実験 me)																			
2. 応用生物学 専門コア科目	1. 生物学/機能系			細胞生物学【0】	動物生理学【0】	植物生理学【0】																国際科学技術特別演習Ⅰ【2】		
				微生物学【0】	遺伝学【0】	昆虫生理学【0】																	国際科学技術特別演習Ⅱ【2】	
	2. 生化学/分子系			生物化学Ⅰ【0】	生物化学Ⅱ【0】	昆虫工学【0】																		
					分子生物学【0】	細胞遺伝学【0】																		
3. 応用生物学 専門アドバンス科目	1. 生物学/機能系			資源昆虫生産学実験実習【0】	生物基礎英語演習【2】	脳の生理学【0】	運動機能学【0】															昆虫バイオメディカル【2】		
					昆虫機能開発学【0】	細胞組織の機能構築【0】																	ゲノム・エピゲノム制御学【2】	
					植物機能開発学【0】																			生命分子構造機能学【2】
							植物生理生態学【0】																	生体機能制御学【2】
																								植物・生態学【2】
	2. 生化学/分子系					課題開発型演習【0】	細胞工学【0】																	
							放射線生物学【0】																	
						微生物工学【0】	植物機能科学【0】																	
							モデル生物学【0】																	
(参考) 学域共通 専門基礎科目	生命物質化学域 共通科目			(生物学Ⅰ ma)	(生物学Ⅱ ma/mb)	(地学実験)																		
				(化学Ⅰ mc)	(化学Ⅱ mc)	(インターンシップA)																		
				(基礎力学 md)	(分析化学 ma)	(インターンシップB)																		
				(基礎解析Ⅰ md)	(基礎電磁気学 md)																			
				(線形代数学Ⅰ mc)	(基礎解析Ⅱ md)																			
					(線形代数学Ⅱ mc)																			
				(有機化学Ⅰ md)	(資源生物と環境)																			
				(無機化学)	(有機化学Ⅱ md)																			
				(物理化学Ⅰ md)	(物理化学Ⅱ md)																			
				(物理学基礎実験A ma)	(物理学基礎実験A mb)																			
		(解析学Ⅰ)																						

留意事項 1. 括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングが適用される。
 2. 下線を付した科目については他課程教員が担当しているものである。
 3. 網掛けの科目については大学院の特別教育プログラム科目である。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

0:日本語で行う授業
1:英語で行う授業
2:受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
3:英語以外の外国語で行う授業
4:その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成29年度 科目ナンバリング分類表 (高分子機能工学課程, 物質合成化学専攻, 機能性物質化学, 材料創製化学専攻, 材料制御化学専攻分、物質・材料化学専攻)

大分類 MM 高分子機能工学課程

大分類 IM 材料創製化学, MC 材料制御化学専攻, MS 物質合成化学専攻, FC 機能物質化学専攻

大分類 MC 物質・材料化学専攻

学士課程 4年

修士課程 2年

博士課程 3年

3

3

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 実習系	1. 実験			高分子機能工学実験 I 【0】 ものづくりインターンシップ II 【0】	高分子機能工学実験 II 【0】 ものづくりインターンシップ I 【0】	卒業研究 【0】 卒業プロジェクト【0】			
							材料創製化学特別実験及び演習 I (IM) 【0】 材料創製化学特別実験及び演習 II (IM) 【0】 材料創製化学特別実験及び演習 III (IM) 【0】 材料創製化学特別実験及び演習 IV (IM) 【0】 材料創製化学インターンシップ I (IM) 【0】 材料創製化学インターンシップ II (IM) 【0】 国際インターンシップ (IM) 【2】	物質・材料化学特別演習 I 【0】 物質・材料化学特別演習 II 【0】 物質・材料化学インターンシップ I 【0】 物質・材料化学インターンシップ II 【0】 研究指導 【2】 国際科学技術特別演習 I 【2】 国際科学技術特別演習 II 【2】	
							特別研究(IM) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 I (IM) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 II (IM) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 III (IM) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 IV (IM) 【2】		
							材料制御化学特別実験及び演習 I (MC) 【0】 材料制御化学特別実験及び演習 II (MC) 【0】 材料制御化学特別実験及び演習 III (MC) 【0】 材料制御化学特別実験及び演習 IV (MC) 【0】 材料制御化学インターンシップ I (MC) 【0】 材料制御化学インターンシップ II (MC) 【0】 国際インターンシップ (MC) 【2】	特別研究 (MC) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 I (MC) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 II (MC) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 III (MC) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 IV (MC) 【2】	
							物質合成化学特別実験及び演習 I (MS) 【0】 物質合成化学特別実験及び演習 II (MS) 【0】 物質合成化学特別実験及び演習 III (MS) 【0】 物質合成化学特別実験及び演習 IV (MS) 【0】 物質合成化学インターンシップ I (MS) 【0】 物質合成化学インターンシップ II (MS) 【0】 国際インターンシップ (MS) 【2】	特別研究 (MS) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 I (MS) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 II (MS) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 III (MS) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 IV (MS) 【2】	
							機能物質化学特別実験及び演習 I (FC) 【0】 機能物質化学特別実験及び演習 II (FC) 【0】 機能物質化学特別実験及び演習 III (FC) 【0】 機能物質化学特別実験及び演習 IV (FC) 【0】 機能物質化学インターンシップ I (FC) 【0】 機能物質化学インターンシップ II (FC) 【0】 国際インターンシップ (FC) 【2】	特別研究 (FC) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 I (FC) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 II (FC) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 III (FC) 【2】 国際科学技術特別実験及び演習 IV (FC) 【2】	
	2. 実験基礎		専門導入ゼミ 【0】	高分子機能工学序論 【0】	発展ゼミ 【0】				
	3. セミナー		地域課題導入セミナー【0】		地域創生課題セミナー II 【0】	地域創生課題セミナー I 【0】			
2. 物理系	1. 物性基礎			物性物理学 【0】 振動・波動 【0】	シミュレーション物理学 【0】 統計熱力学 【0】			熱・統計物理学(MC) 【2】	
3. 物理化学系	1. 熱力学・反応速度							素反応速度論(IM) 【2】 生体分子動力学(FC) 【2】	
	2. 量子物理化学			構造物理化学 【0】	フォトニクス物理化学 【0】			有機・高分子光工学(IM) 【2】 原子分子物理化学(MC) 【2】 高分子物性工学(IM) 【2】 分子構造化学(FC) 【2】 分子機能設計(IM) 【2】	
4. 無機・分析化学系	1. 無機化学・固体化学							応用固体化学(IM) 【2】 無機材料物性学(IM) 【2】 無機材料計算化学(MC) 【2】	
	2. 無機材料化学							ガラス・セラミックス材料科学(IM) 【2】 無機構造材料科学(MC) 【2】	
	3. 分析化学							分離分析化学(FC) 【2】 分離媒体設計論(MS) 【2】	
5. 有機化学系	1. 有機反応化学							有機ヘテロ原子化学(MS) 【2】 有機反応制御化学(MS) 【2】	
	2. 有機材料化学							有機分子材料化学(MS) 【2】 応用界面材料科学(MS) 【0】 有機精密材料科学(MS) 【2】 バイオミメティック合成化学(MS) 【2】	
6. 高分子材料系	1. 高分子合成		高分子化学 【0】	高分子有機化学 【0】				高分子合成化学特論(MS) 【2】 機能高分子材料(IM) 【2】 高分子物質設計論(MS) 【2】	
	2. 高分子構造			高分子構造学 【0】 ナノテクノロジー 【0】	高分子ナノ材料工学 【0】			階層構造形成論(MC) 【2】 高分子構造・力学(MC) 【2】	
	3. 高分子物性			高分子物性 【0】 液晶・高分子物性 【0】 高分子分子物性 【0】	高分子応用物性 【0】 機能設計化学 【0】 高分子材料化学 【0】			光電子材料化学(IM) 【2】 ナノ材料物性(IM, MC) 【2】 高分子物性論(MC) 【2】	
7. 生体・環境化学系	1. 生体関連化学							生体反応機構論(FC) 【2】 生体制御分子設計(FC) 【2】 高分子生化学機能(FC) 【2】	
	2. 天然物質・繊維系			ファイバーサイエンス 【0】				繊維システム論(MC) 【2】 タンパク質機能構造(FC) 【2】	
	3. 環境・化学工学				環境と高分子 【0】 技術者倫理 【0】			化学工学特論(MS, FC) 【2】	
								天然高分子材料(FC) 【2】 応用バイオ繊維科学(IM, FC) 【2】	
								バイオベースポリマー(MC, MS, FC) 【2】	
								環境物質化学 【2】	

※【】中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成29年度 科目ナンバリング分類表 (物質工学課程, 物質合成化学専攻、機能性物質化学、材料創製化学専攻、材料制御化学専攻分、物質・材料化学専攻)

大分類 CM 物質工学課程

大分類 IM 材料創製化学, MC 材料制御化学専攻, MS 物質合成化学専攻, FC 機能性物質化学専攻

大分類 MC 物質・材料化学専攻

学士課程 4年

、修士課程 2年

博士課程 3年

3

3

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000		
1. 実習系	1. 実験		物質研究実験Ⅰ【0】	物質研究実験Ⅱ【0】 物質研究実験Ⅲ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅠ【0】	卒業研究【0】 卒業プロジェクト【0】		材料創製化学特別実験及び演習Ⅰ(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅱ(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅲ(IM)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅳ(IM)【0】 材料創製化学インターンシップⅠ(IM)【0】 材料創製化学インターンシップⅡ(IM)【0】 国際インターンシップ(IM)【2】 特別研究(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(IM)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(IM)【2】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅰ(MC)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅱ(MC)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅲ(MC)【0】 材料創製化学特別実験及び演習Ⅳ(MC)【0】 材料創製化学インターンシップⅠ(MC)【0】 材料創製化学インターンシップⅡ(MC)【0】 国際インターンシップ(MC)【2】 特別研究(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(MC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(MC)【2】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅰ(MS)【0】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅱ(MS)【0】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅲ(MS)【0】 物質合成化学特別実験及び演習Ⅳ(MS)【0】 物質合成化学インターンシップⅠ(MS)【0】 物質合成化学インターンシップⅡ(MS)【0】 国際インターンシップ(MS)【2】 特別研究(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(MS)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(MS)【2】 機能性物質化学特別実験及び演習Ⅰ(FC)【0】 機能性物質化学特別実験及び演習Ⅱ(FC)【0】 機能性物質化学特別実験及び演習Ⅲ(FC)【0】 機能性物質化学特別実験及び演習Ⅳ(FC)【0】 機能性物質化学インターンシップⅠ(FC)【0】 機能性物質化学インターンシップⅡ(FC)【0】 国際インターンシップ(FC)【2】 特別研究(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ(FC)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ(FC)【2】	物質・材料化学特別演習Ⅰ【0】 物質・材料化学特別演習Ⅱ【0】 物質・材料化学インターンシップⅠ【0】 物質・材料化学インターンシップⅡ【0】 研究指導【2】 国際科学技術特別演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別演習Ⅱ【2】		
		2. 実験基礎	専門導入ゼミ【0】	実験解析【0】						
		3. セミナー	地域課題導入セミナー【0】		地域創生課題セミナーⅡ【0】 最先端科学講座【0】 地域創生課題セミナーⅠ【0】					
		2. 物理系	1. 物性基礎			応用色彩工学【0】				
		3. 物理化学系	1. 熱力学・反応速度				固体熱力学【0】			
			2. 量子物理化学			物質分光学【0】	物質物理化学Ⅱ【0】 分子量子化学【0】 物質物理化学Ⅰ【0】			
		4. 無機・分析化学系	1. 無機化学・固体化学		無機物質化学Ⅰ【0】 無機化学演習【0】	固体物性概論【0】 触媒化学【0】	固体電子論【0】			
			2. 無機材料化学			無機物質化学Ⅱ【0】 セラミック物理学【0】	金属材料学【0】 セラミック化学【0】			
			3. 分析化学			応用分析化学【0】	有機機器分析【0】 材料機器分析概論【0】			
		5. 有機化学系	1. 有機反応化学		有機化学演習【0】	有機物質化学Ⅰ【0】	有機物質化学Ⅱ【0】 有機反応化学【0】			
2. 有機材料化学				界面化学【0】	精密材料化学【0】					
6. 高分子材料系	1. 高分子合成			高分子化学【0】	高分子材料化学【0】					
	2. 高分子構造									
	3. 高分子物性									
7. 生体・環境化学系	1. 生体関連化学			生体高分子化学【0】						
	2. 天然物質・繊維系			有機資源化学【0】						
	3. 環境・化学工学				化学工学Ⅱ【0】					
						熱・統計物理学(MC)【2】				
						素反応速度論(IM)【2】	生体分子力学(FC)【2】			
						有機・高分子光学(IM)【2】	原子分子物理化学(MC)【2】			
						高分子物性学(IM)【2】	分子構造化学(FC)【2】			
						分子機能設計(IM)【2】				
						応用固体化学(IM)【2】	無機材料物性学(IM)【2】 無機材料計算化学(MC)【2】			
						ガラス・アモルファス材料科学(IM)【2】	無機構造材料科学(MC)【2】			
						分離分析化学(FC)【2】	分離媒体設計論(MS)【2】			
						有機ヘテロ原子化学(MS)【2】	有機反応制御化学(MS)【2】			
						有機分子材料化学(MS)【2】	応用界面材料学(MS)【0】			
						有機精密材料学(MS)【2】	バイオミメティック合成化学(MS)【2】			
						高分子合成化学特論(MS)【2】	機能高分子材料(IM)【2】			
						高分子物質設計論(MS)【2】				
						階層構造形成論(MC)【2】				
						高分子構造・力学(MC)【2】				
						光電子材料化学(IM)【2】	ナノ材料物性(IM, MC)【2】			
						高分子物性論(MC)【2】				
						生体反応機構論(FC)【2】	生体制御分子設計(FC)【2】			
						高分子生化学機能(FC)【2】	タンパク質機能構造(FC)【2】			
						繊維システム論(MC)【2】				
							天然高分子材料(FC)【2】			
						化学工学特論(MS, FC)【2】	応用バイオ繊維科学(IM, FC)【2】			
							バイオベースポリマー-DMC, MS, FC)【2】			
								光エネルギー物質科学【2】		
								制御分子構造学【2】		
								電子機能高分子創成学【2】		
								光機能高分子創成学【2】		
								ナノ構造物質学【2】		
								ナノ物質加工学【2】		
								分離機能材料学【2】		
								立体機能物質化学【2】		
								精密物質合成学【2】		
								精密重合高分子【2】		
								ソフトマテリアル創成学【2】		
								繊維性高分子材料組織学【2】		
								高分子形態制御学【2】		
								高分子機能物性学【2】		
								生体分子機能化学【2】		
								生体分子機構解析学【2】		
								生体分子設計学【2】		
								環境物質化学【2】		

留意事項: 括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングが適用される。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成29年度 科目ナンバリング分類表 (電子システム工学課程, 電子システム工学専攻)

大分類 EL 電子システム工学課程

大分類 EL 電子システム工学専攻

大分類 EL 電子システム工学専攻

		学士課程 4年				修士課程 2年		博士課程 3年	
		3				3		3	
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 総合科目	1. 実験・実習・セミナー	電子システム工学セミナーⅠ【0】 電子システム工学セミナーⅡ【0】 地域課題導入セミナー【0】	電子システム工学セミナーⅢ【0】	電子システム工学基礎実験【0】	電子システム工学実験及び設計Ⅰ【0】 地域創生課題セミナーⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】	電子システム工学実験及び設計Ⅱ【0】 地域創生課題セミナーⅠ【0】 ものづくりインターンシップⅠ【0】			グローバルインターンシップⅢ【2】 グローバルインターンシップⅣ【2】 電子システム工学インターンシップⅢ【0】 電子システム工学インターンシップⅣ【0】 電子システム工学特別演習Ⅰ【0】 電子システム工学特別演習Ⅱ【0】 イノベーションプロジェクト【2】
	2. 講義							特別課題実験及び演習Ⅰ【0】 特別課題実験及び演習Ⅱ【0】 電子システム工学インターンシップⅠ【0】 電子システム工学インターンシップⅡ【0】 電子システム工学特別実験及び演習Ⅰ【0】 電子システム工学特別実験及び演習Ⅱ【0】 国際インターンシップ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】	
	3. 研究					卒業研究【0】 卒業プロジェクト【0】		特別研究【2】	国際科学技術特別演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別演習Ⅱ【2】 研究指導【2】
2. 材料物性・デバイス	1. 材料物性		電子物性基礎論Ⅰ【0】 電子物性基礎論Ⅱ【0】	電子材料工学【0】			電子物性特論A【2】 ナノ構造工学【2】 統計物理学【2】	電子物性論【2】 ナノ構造論【2】 光材料工学【2】 電子材料論【2】	
	2. デバイス			電子デバイス【0】 センサ工学【0】	集積化プロセス・デバイス工学【0】		マイクロデバイス工学【2】 光電子デバイス工学【2】 電子デバイス特論【2】 エネルギー変換デバイス【2】	電子デバイス論【2】 パワー半導体デバイス論【2】 機能性薄膜応用デバイス工学【2】	
3. 電磁気エネルギー	1. 数学		電子システム数理基礎論【0】						
	2. 電磁気・電磁波		電磁気学および演習ⅠA【0】 電磁気学および演習ⅠB【0】	電磁気学および演習ⅡA【0】 電磁気学および演習ⅡB【0】	電磁気学Ⅲ【0】 電磁波工学【0】		電磁波工学特論A【2】 電磁波工学特論B【2】	電磁機能構造設計理論【2】	
	3. 光エレクトロニクス		光学基礎	フォトニクスⅠ	フォトニクスⅡ		応用光学 光波工学	情報光学 集積フォトニクス	
	4. エネルギー				プラズマ工学【0】 電気エネルギー工学【0】		プラズマ解析学【2】	プラズマ物性工学【2】 プラズマ制御論【2】 電磁エネルギー科学【2】	
4. 通信・制御	1. 信号処理・通信		デジタル信号処理【0】		通信システム工学【0】		通信工学特論【2】	通信信号処理【2】 情報伝送論【2】	
	2. 制御			制御工学【0】 システム最適化【0】					
5. 回路	1. 電気回路		電気回路【0】 電気回路演習【0】	回路解析【0】 回路解析演習【0】	高周波回路【0】				
	2. 電子回路		論理設計【0】	デジタル電子回路【0】	アナログ電子回路【0】 電子回路演習【0】	集積回路工学【0】	集積回路工学特論【2】	集積システム工学【2】	
6. 情報	1. 計算機・ネットワーク			情報ネットワーク【0】	コンピュータシステム【0】			エネルギーインターネット設計論【2】	
	2. プログラミング		プログラミング演習Ⅰ【0】 プログラミング演習Ⅱ【0】			計算モデル論【0】			

※【 】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成29年度 科目ナンバリング分類表 (情報工学課程, 情報工学専攻, 設計工学専攻)

大分類 IS 情報工学課程

大分類 IS 情報工学専攻

大分類 ED 設計工学専攻

学士課程 4年	修士課程 2年	博士課程 3年
3	3	3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 情報工学基礎・実習	1. プロジェクト実習・実験	情報工学セミナー【0】		プロジェクト実習Ⅰ【0】	プロジェクト実習Ⅱ【0】	プロジェクト実習Ⅲ【0】	卒業研究【0】	設計工学特別演習Ⅰ【0】	
		地域課題導入セミナー【0】			地域創生課題セミナーⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】	卒業プロジェクト【0】	設計工学特別演習Ⅱ【0】	
					ものづくりインターンシップⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】		研究指導【2】	
								特別研究【0】	
								特別課題実験及び演習Ⅰ【0】	特別課題実験及び演習Ⅱ【0】
								特別課題実験及び演習Ⅲ【0】	特別課題実験及び演習Ⅳ【0】
								情報工学インターンシップⅠ【0】	設計工学インターンシップⅠ【0】
								情報工学インターンシップⅡ【0】	設計工学インターンシップⅡ【0】
								国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】	国際科学技術特別演習Ⅰ【2】
								国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】	国際科学技術特別演習Ⅱ【2】
2. ハードウェア	1. 電気・電子回路								
3. ソフトウェア	1. ソフトウェア開発								
4. 通信・システム	1. 情報・ネットワーク								

留意事項・括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングが適用される。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成29年度 科目ナンバリング分類表（機械工学課程，機械物理学専攻，機械設計学専攻，設計工学専攻分）

大分類 ME 機械工学課程

大分類 MP 機械物理学専攻, MD 機械設計学専攻

大分類 ED 設計工学専攻

学士課程 4年

修士課程 2年

博士課程 3年

3

×

3

×

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000
1. 研究系	1. 研究系	地域課題導入セミナー【0】		地域創生課題セミナーⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】 ものづくりインターンシップⅠ【0】	卒業研究【0】 卒業論文【0】 卒業プロジェクト【0】	プロジェクトマネジメント(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅰ(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅱ(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅲ(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅳ(MP)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅰ(MD)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅱ(MD)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅲ(MD)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅳ(MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅰ(MP,MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅱ(MP,MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅲ(MP,MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅳ(MP,MD)【0】 特別研究(MP,MD)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】 国際インターンシップ【2】	設計工学特別演習Ⅰ【0】 設計工学特別演習Ⅱ【0】 研究指導【2】 国際科学技術特別演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別演習Ⅱ【2】
		2. 機械工学リテラシー	エンジニアのためのリテラシー【0】				Technical Writing & Communication(MP)【2】 Technical Writing & Communication(MD)【2】	
2. 機械設計・実験・シミュレーション系	1. 実験系			機械工学実験Ⅰ【0】	機械工学実験Ⅱ【0】	機械物理学基礎演習Ⅰ(MP)【2】 機械物理学基礎演習Ⅱ(MP)【2】 機械設計学基礎演習Ⅰ(MD)【2】 機械設計学基礎演習Ⅱ(MD)【2】	機械物理学インターンシップⅠ(MP)【0】 機械物理学インターンシップⅡ(MP)【0】 機械設計学インターンシップⅠ(MD)【0】 機械設計学インターンシップⅡ(MD)【0】	設計工学インターンシップⅠ【0】 設計工学インターンシップⅡ【0】
	2. 設計・製図		機械製図法Ⅰ【0】	機械製図法Ⅱ【0】 機械設計学【0】	応用機械設計【0】	創造設計製図演習【0】		
	3. 工業力学		工業力学Ⅰ【0】	工業力学Ⅱ【0】			機械システム安全工学(MD)【2】 運動装置設計論(MD)【2】 機械安全設計論(MD)【2】 ストラテジックデザイン論(MD)【0】	
	4. 計算力学			コンピュータシミュレーション基礎学【0】	計算力学【0】			
3. 熱・流体力学	1. 流体力学		流体力学Ⅱ及び演習【0】	流体力学Ⅰ及び演習【0】		流体力学Ⅲ【0】	気体分子運動論(MP)【2】 流体エネルギー変換論(MP)【2】 流体工学特論(MP)【2】	計算流体論【2】
	2. 熱力学		熱力学Ⅰ及び演習【0】	熱力学Ⅱ及び演習【0】	熱エネルギー輸送現象【0】	熱力学Ⅲ【0】	熱エネルギー変換工学(MP)【2】 熱伝達論(MP)【2】 反応性熱流体力学(MP)【2】	エネルギーシステム論【2】
4. 材料・加工学	1. 材料力学		材料力学Ⅱ及び演習【0】	材料力学Ⅰ及び演習【0】		機械構造解析学【0】 材料力学Ⅲ【0】	理論応力解析学(MP)【2】 数値固体力学(MP)【2】	要素強度評価学【2】
	2. 工業材料学		工業材料学【0】		材料強度学【0】 塑性力学【0】		先端工業材料学(MD)【2】	機械材料強度論【2】
	3. 加工学		機械加工法及び実習【0】	材料加工プロセス【0】	切削・研削加工学【0】	塑性加工学【0】 特殊加工学【0】	成形限界設計論(MD)【2】 先端材料加工学(MD)【2】 応用機械加工学(MD)【2】	機械材料加工論【2】
5. 計測・制御工学	1. 機械力学		機械力学Ⅰ及び演習【0】	機械力学Ⅱ及び演習【0】	防振システム工学【0】	機械力学Ⅲ【0】	機械力学特論(MP)【2】 知的構造システム学(MD)【2】	振動力学【2】
	2. 計測工学			計測基礎学【0】	工業計測法【0】		光・画像計測論(MD)【2】	エネルギーシステム論(重複)【2】
	3. 制御工学			システム制御理論【0】	ロボティクス【0】	最適制御システム【0】 計画工学【0】	ロボット制御論(MD)【2】 確率応用システム論(MD)【2】 生産システム論(MD)【2】 最適化理論(MD)【2】	システム制御論【2】

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成29年度 科目ナンバリング分類表(デザイン経営工学課程、デザイン経営工学専攻、設計工学専攻)

DE デザイン経営工学

大分類 DE デザイン経営工学専攻

大分類 ED 設計工学専攻

学士課程 4年	修士課程 2年	博士課程 3年
3	3	3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1.総合	1.概論・基礎	デザイン経営工学概論【0】	プロジェクトマネジメント【0】	ものづくりの統計学【0】	知的財産権論【0】		デザイン経営工学特別講義【0】		
	2.事例研究					デザイン経営工学事例研究【0】		デザインマネジメント事例研究【0】	
	3.演習・実習	地域課題導入セミナー【0】		情報処理演習【0】	デザイン経営工学演習【0】	デザイン経営工学研究【0】	デザインマネジメント演習Ⅰ【0】	デザインマネジメント演習Ⅱ【0】	デザイン経営工学インターンシップⅠ【0】
					地域創生課題セミナーⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】	特別課題実験及び演習Ⅰ【0】	特別課題実験及び演習Ⅱ【0】	デザイン経営工学インターンシップⅡ【0】
					ものづくりインターンシップⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】	卒業研究【0】		特別研究【2】
							卒業プロジェクト【0】		
2.デザイン	1.講義		ファミリリティ計画論【0】	経営デザインストラテジー【0】	ファミリリティ経営論【0】	デザインマネジメント【0】			
			デザイン概論【2】						
	2.演習・実習			デザイン演習Ⅰ【2】	デザイン演習Ⅱ【2】	デザイン表現演習【2】			
				デザイン演習Ⅲ【2】	デザイン演習Ⅳ【2】	事業企画論【0】			
3.エンジニアリング	1.講義		エンジニアリング概説Ⅰ【0】	エンジニアリング概説Ⅱ【0】	人間情報科学【0】	感覚工学【0】			
			資源環境論【0】	材料工学【0】					
	2.演習・実習			エンジニアリング演習Ⅰ【0】	エンジニアリング演習Ⅱ【0】				
				エンジニアリング演習Ⅲ【0】	エンジニアリング演習Ⅳ【0】				
4.マネジメント	1.講義		企業経営学概論Ⅰ【0】	企業経営学概論Ⅱ【0】	経営戦略論【0】	ベンチャー企業経営学【0】			
			マーケティング論【0】	会計・財務基礎【0】		市場参入論【0】			
	2.演習・実習			マネジメント演習Ⅰ【0】	マネジメント演習Ⅱ【0】				
				マネジメント演習Ⅲ【0】	マネジメント演習Ⅳ【0】				

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成29年度 科目ナンバリング分類表 (デザイン・建築学課程, デザイン学専攻, 建築学専攻分)

大分類 DA デザイン・建築学課程		学士課程 4年				修士課程 2年		博士課程 3年	
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 総合共通科目	1. 基礎科学		(基礎解析 I) (統計学 I) (数学演習 I) (基礎力学) (化学 I) (生物学 I)	(基礎解析 II) (統計学 II) (数学演習 II) (力学) (基礎電磁気学) (化学 II) (生物学 II)	(統計力学) (環境化学) (量子力学)				
	2. 広域教養科目	デザイン・建築学概論[0] 地域課題導入セミナー[0]		前編美学論[0] 地域創生課題セミナー II [0] ものづくりインターンシップ II [0]	(比較文学論) 地域創生課題セミナー I [0] ものづくりインターンシップ I [0]		都市デザイン[ARCH][2] 建築デザイン[ARCH][2] Development and Management of Local Wisdom and Global Technology[CH][1] Pre-Graduate Design Studio[CH][1] Pre-Graduate Architectural Theory[CH][1] Pre-Graduate Building Technology[CH][1]		
	3. 共通実習	デザイン・建築基礎実習[0]	絵画実習 (インターンシップA) (インターンシップB)		デザイン・建築学演習[0]				
	4. 修了指導				卒業研究[0] 卒業プロジェクト[0]				
2. 建築計画論	1. 建築計画		建築計画 I [0] 建築計画 II [0]	住環境計画[0] 建築計画演習[0]				建築・都市再生構想学[AR][2] 保存再生設計学[AR][2] 地域設計プロジェクト特論 I [AR][0] 地域設計プロジェクト特論 II [AR][2] 地域設計プロジェクト特論 III [AR][2]	
	2. 建築史		近代建築史[0] 西洋建築史[0] 東洋建築史[0]	都市史 II [0] 都市史 III [0]	都市史 I [0] 都市史 IV [0]		建築保存再生技術[ARCH][0] Selected Topics in Architectural History and Theory[CH][1] Advanced Problems in Architectural History and Theory[CH][1] Theory and Philosophy in Vernacular Architecture[CH][1] Research Approaches in Vernacular Architecture[CH][1] Dynamics of Vernacular Architecture[CH][1] 建築史[ARSDSH][2] 都市史[ARSDSH][2]		
	3. 建築論		建築論[0] 建築概論[0]	環境デザイン論[0] 都市・建築遺産論[0]			Urban Architecture[CH][1] Research Methodology in Architecture[CH][1] Advanced Specific Architectural Knowledge[CH][1] Critical Theories of Architecture[CH][1] Artistic Practices of Architecture[CH][1]	伝統建築学[AR][2]	
3. 建築技術論	1. 建築構造		建築構造力学 I [0] 建築構造力学 II [0] 建築構造材料実習[0] 造形材料[0]	建築構造設計学 I [0] 建築構造設計学 II [0] 建築構造材料実習[0]			建築構造設計技術[ARCH][0] Quantitative Research Methods in Architecture[CH][1] Qualitative Research Methods in Architecture[CH][1] Dynamics and Behavior of Architectural Materials[CH][1] Building Technology[CH][1]		
	2. 環境工学		環境調整 I [0] 建築設備[0]	環境調整 II [0] 建築設備工学演習[0]	空気調整設備[0]		建築環境・設備論[ARCH][0] 建築設備設計技術[ARCH][0] Architectural Technology and Sustainable Environment[ARCH][1] Application of Theories of Human Behavior in Environmental Studies and Design[CH][1] Environmental Perception and Assessment[CH][1] Selected Topics in Environment and Behavior[CH][1]		
	3. 生産・法規		建築測量実習[0] 建築法規[0]	建築生産[0]			Architectural Management[CH][1] Environmental Perception and Assessment Architectural Management[CH][1] Architectural Management[CH][1]		
4. 建築実習	1. 建築設計		建築設計実習 I [0] 建築設計実習 II [0] 建築設計基礎[0]	建築設計実習 III [0] 建築設計実習 IV [0] 建築設計実習 V [0]	建築設計実習 VI [0] 建築設計実習 VII [0]		国際設計プロジェクト I [ARCH][0] 国際設計プロジェクト II [ARCH][0] Graduate Design Studio in Architecture I [CH][1] Graduate Design Studio in Architecture II [CH][1] Research for Architectural Design[CH][1] Research for Architectural Design[CH][1] 建築設計実習[ARCH][1] 都市設計実習[ARCH][1]	建築設計プロジェクト I [AR][0] 建築設計プロジェクト II [AR][0] 建築設計プロジェクト特論 I [AR][0] 建築設計プロジェクト特論 II [AR][0] 建築設計プロジェクト特論 III [AR][0]	
	2. 保存再生				伝統建築実習[0]		都市・建築再生学演習 I [ARCH][0] 都市・建築再生学演習 II [ARCH][0] 建築都市保存再生プロジェクト I [ARCH][2] 建築都市保存再生プロジェクト II [ARCH][2] 建築都市保存再生プロジェクト III [ARCH][2] 建築都市保存再生プロジェクト IV [ARCH][2]	都市・建築再生学演習 I [AR][2] 都市・建築再生学演習 II [AR][2] 都市・建築再生学特別演習 I [AR][0] 都市・建築再生学特別演習 II [AR][0]	
	3. 総合実習						Theory of Architecture in Asia[CH][1] Theory of Architecture in Asia[CH][1] 建築設計実務実習 I [ARCH][0] 建築設計実務実習 II [ARCH][0] 建築設計実務実習 III [ARCH][0] 都市・建築空間研究[ARCH][0] 都市・建築空間研究[ARCH][0] 建築設計学インターンシップ I [AR][0] 建築設計学インターンシップ II [AR][0] 建築設計学特別講義 I [ARCH][2] 建築設計学特別講義 II [ARCH][2] Special Research in Architecture I [CH][1] Special Research in Architecture II [CH][1] 建築再生学特別講義 I [ARCH][2] 建築再生学特別講義 II [ARCH][2] Special Problem[CH][1] Special Problem[CH][1]	都市・建築設計インターンシップ[AR][0] 都市・建築設計インターンシップ II [AR][0]	
5. デザイン理論	1. デザイン論		製品技術論[0] 視覚デザイン論[0]	映像デザイン論[0] 工業デザイン論[0]	室内空間計画[0] 視覚形成論[0] デザイン方法論[0]		伝統文化とデザイン[DS][2] プロダクトデザイン論[DS][2] 技術革新とデザイン[DS][2] デジタルデザイン論[DS][2] デザイン学特別講義[DS][0]	プロジェクトデザイン論[DS][2] 機能デザイン論[DS][2]	
	2. 美術史・芸術論		日本美術史[0] 感性論[0]	デザイン史[0] 現代美術論[0]	近代造形史[0] 写真・映画論[0]		近代造形史特論[DS][2] 感性論特論[DS][2]	美術史論[DS][2] 造形史論[ARSDS][2] 芸術批評論[DS][2]	
6. デザイン実習	1. デザインプロジェクト		デザインプロジェクト I [0] デザインプロジェクト II [0] デザイン基礎[0]	デザインプロジェクト III [0] デザインプロジェクト IV [0]	デザインプロジェクト V [0] デザインプロジェクト VI [0]		アドバンストデザインプロジェクト I [DS][2] アドバンストデザインプロジェクト II [DS][2] デザインプロジェクト A[DS][2] デザインプロジェクト B[DS][2] 再創デザインアプローチ[DS][0]	イノベーションデザインプロセス実習[DS][0] イノベーションデザインプロセス実習[DS][0]	
	2. 総合実習		デザインプラクティス I [0] デザインプラクティス II [0]	デザインプラクティス III [0] デザインプラクティス IV [0]	デザインプラクティス V [0] デザインプラクティス VI [0]		ME310グローバルイノベーションプログラム II [ARSDS][2] ME310グローバルイノベーションプログラム I [ARSDS][2] デザインセンターシップ I [DS][0] デザインセンターシップ II [DS][0] デザイン学特別演習 A[DS][0] デザイン学実務実習[DS][0]	デザイン学特別演習 I [DS][0] デザイン学特別演習 II [DS][0] デザイン学インターンシップ A[DS][0] デザイン学インターンシップ B[DS][0] デザイン学高度特別演習 A[DS][0] デザイン学高度特別演習 B[DS][0] デザイン学高度実務実習[DS][0] 伝統造形学高度実務実習[DS][0]	
	3. 美術館・博物館実習						博物館資料実習 I [DS][2] 博物館資料実習 II [DS][2] 博物館資料実習 III [DS][2] 博物館学演習 I [DS][2] 博物館学演習 II [DS][2] 博物館学演習 III [DS][2] 国際科学技術特別実習 I [DS][2] 国際科学技術特別実習 II [DS][2]	博物館資料実習 I [DS][0] 博物館資料実習 II [DS][0] 博物館資料実習 III [DS][0] 博物館学演習 I [DS][0] 博物館学演習 II [DS][0] 博物館学演習 III [DS][0] 国際科学技術特別実習 I [DS][0] 国際科学技術特別実習 II [DS][0]	

留意事項 1. 括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目)の大分類コードから始まるナンバリングが適用される。
 2. 二重下線の科目は、春学期または秋学期のいずれかに開講する科目となります。
 3. 【 】の中の数字は、言語コードの業を表します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)
 0: 日本語で行う授業
 1: 英語で行う授業
 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
 3: 英語以外の外国語で行う授業
 4: その他(例えば受講者に応じて日本語または英語で行う授業など)

平成29年度 科目ナンバリング分類表 (バイオベースマテリアル学専攻)

大分類 なし

大分類 BM バイオベースマテリアル学専攻

大分類 BM バイオベースマテリアル学専攻

学士課程 4年

修士課程 2年

博士課程 3年

3

x

3

x

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 実習	1. スタートアップ											スタートアップセミナー【2】	スタートアップセミナー【2】		
	2. セミナー											バイオベースマテリアル学国際セミナー【1】	バイオベースマテリアル学セミナー【0】		
	3. インターンシップ											産学連携セミナー【0】			
	4. 実験・演習											バイオベースマテリアル学インターンシップ I【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ II【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ III【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ IV【0】
												国際インターンシップ【1】			
												バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 I【0】	バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 II【0】	バイオベースマテリアル学特別演習 I【0】	
												バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 III【0】	バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 IV【0】	バイオベースマテリアル学特別演習 II【0】	
												特別研究【2】		研究指導【2】	
												国際科学技術特別実験及び演習 I【2】	国際科学技術特別実験及び演習 II【2】	国際科学技術特別実験及び演習 I【2】	
												国際科学技術特別実験及び演習 III【2】	国際科学技術特別実験及び演習 IV【2】	国際科学技術特別実験及び演習 II【2】	
2. バイオベースマテリアル 化学	1. 高分子化学										バイオベースポリマー【2】				バイオベースマテリアル化学【2】
	2. 立体化学										生体分子立体化学【2】				
	3. 医用材料										バイオメディカル化学【2】				
	4. 色彩科学										バイオカラーサイエンス【2】				
3. バイオベースマテリアル 材料学	1. 多糖系材料										バイオ機能材料【2】				材料機能制御学【2】
	2. ナノ構造									ナノ材料構造【2】	ナノ材料物性【2】				材料機能構造相関【2】
	3. ナノ繊維形成										バイオナノファイバー【2】				ケモバイオロジー【2】
															ナノファイバーテクノロジー【2】
4. バイオベースマテリアル 生物工学	1. バイオリファイナ リー									生物資源システム工学-【2】	環境資源科学【2】				
	2. 動物系機能物質												タンパク質機能構造【0】		応用タンパク質工学【2】
	3. 植物系機能物質												植物機能工学【0】		

留意事項1. 【 】中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

2. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成29年度 科目ナンバリング分類表（教職関係科目分）

大分類 TP 教職関係科目

学士課程 4年

4

中分類名称 コード	小分類名称 コード	9000	
1. 教職の意義等			現代教師論【0】
2. 教育の基礎理論	1. 教育の理念・歴史・思想	教育原論【0】 日本教育史【0】	
	2. 生徒の心身の発達と学習の過程		教育心理学【0】
	3. 教育に関する社会・制度及び経営的事項	教育社会学【0】	
3. 教育課程及び指導法	1. 教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論【0】	
	2. 各教科の指導法	数学教育法ⅠA【0】	数学教育法ⅠB【0】
		数学教育法Ⅱ【0】	
		理科教育法ⅠA【0】	理科教育法ⅠB【0】
		理科教育法Ⅱ【0】	
		情報教育法Ⅰ【0】	情報教育法Ⅱ【0】
		工業教育法【0】	
	3. 道徳の指導法		道徳教育研究【0】
	4. 特別活動の指導法	特別活動論【0】	
	5. 教育の方法及び技術		
4. 生徒指導・教育相談・進路指導等	1. 生徒指導の理論・方法	生徒指導【0】	
	2. 教育相談・進路指導の理論・方法	教育相談論【0】	
5. 演習・実習	1. 演習		教育実践演習(中・高)【0】
	2. 実習	教育実習Ⅰ【0】	
		教育実習Ⅱ【0】	
教育実習Ⅲ【0】			
6. 教科に関する科目(工業)	1. 職業指導	職業指導Ⅰ【0】	職業指導Ⅱ【0】

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- | |
|---|
| 0:日本語で行う授業
1:英語で行う授業
2:受講者に応じて日本語または英語で行う授業
(状況に応じて使用言語を変更する)
3:英語以外の外国語で行う授業
4:その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など) |
|---|

平成29年度 科目ナンバリング分類表（学芸員資格科目分）

大分類 CU 学芸員資格科目

学士課程 4年

4

中分類名称 コード	小分類名称 コード	9000	
1. 学芸員資格に必要な科目	1. 生涯学習及び社会教育の意義・特性等	生涯学習概論【0】	
	2. 博物館に関する基礎	(博物館概論)	
	3. 博物館の管理・経営	博物館学Ⅰ【0】	
	4. 博物館の資料	(文化財学)	
	5. 博物館資料の保存	文化財保存科学【0】	
6. 博物館の展示機能		博物館学Ⅱ【0】	
7. 博物館教育の理論・実践と方法	教育学概論【0】		
		博物館教育論【0】	
8. 博物館の情報の提供・活用等		博物館情報・メディア論【0】	
9. 博物館の実習	博物館実習【0】		
2. その他		(デザインマネジメント)	
		(京の産業技術史)	

留意事項・括弧書きの科目は人間教養科目または課程専門科目であり、元の大分類から始まるナンバリングが適用される。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- | |
|--|
| 0: 日本語で行う授業
1: 英語で行う授業
2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業
(状況に応じて使用言語を変更する)
3: 英語以外の外国語で行う授業
4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など) |
|--|